

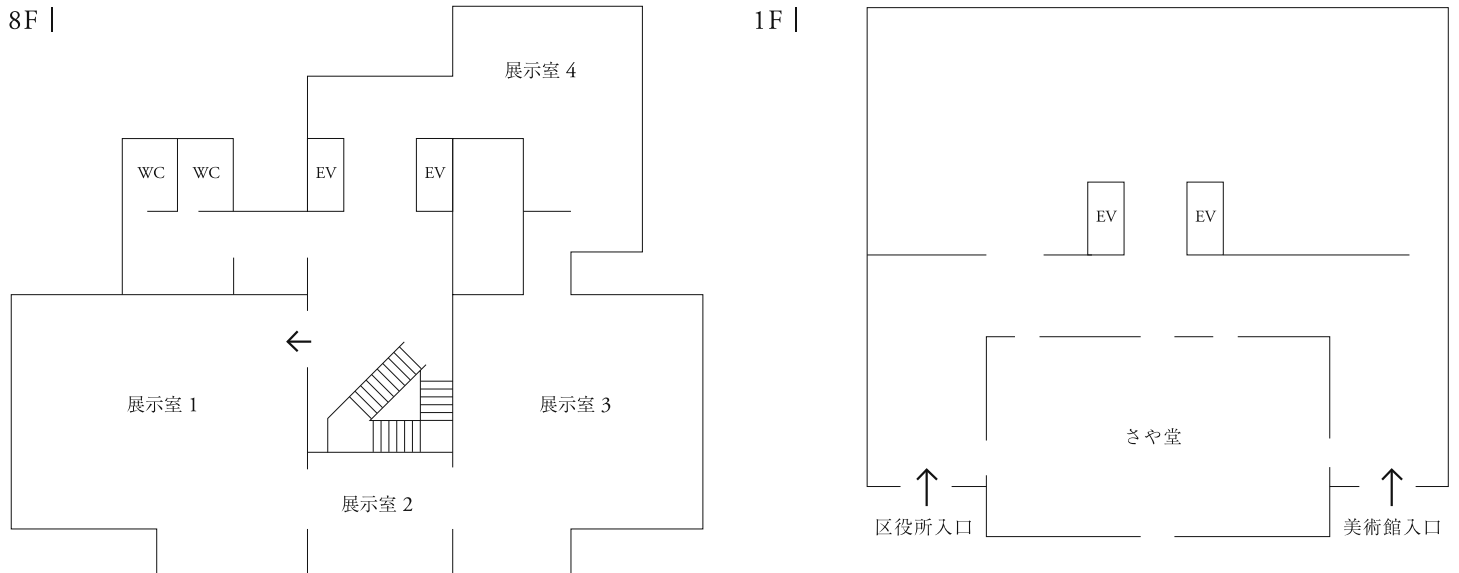
須田悦弘展

2012年10月30日|火| - 12月16日|日|
千葉市美術館

須田悦弘(1969-)は、本物と見紛うほどリアルな植物の木彫で注目を集め、国内外で華々しい活躍を続ける作家です。自ら制作した花や草の木彫を、美術館の展示室や古い建物の片隅に忍ばせ、作品のためにつくられた建屋内に納め、ときには過去の名品と組み合わせて展示します。作品を単体で見せるのではなく、作品が置かれた空間も含めて見せるインスタレーションの作家として、現代美術のみならず、幅広い領域から注目されてきました。

本展は、最初作品《銀座雑草論》(1993)から、この展覧会のために作られた新作《芙蓉》(2012)に至る須田の仕事を紹介。7階展示室では、千葉市美術館のコレクションから江戸時代の絵画・版画の名品を作家自ら選び、随所で自作の木彫と組み合わせて展示する「須田悦弘による江戸の美」を開催します。大作を中心に構成される本展は、これまで開催されてきた数多くの須田悦弘展をしのぐ、過去最大規模の個展となります。

Yoshihiro
Suda



8F 展示室 1

泰山木: 花
1999年
木に彩色
千葉市美術館蔵

睡蓮
2002年
木に彩色
アサヒビール大山崎山荘美術館蔵

芙蓉
2012年
ミクストメディア

大山蓮華
2012年
木に彩色

8F 展示室 2

バラ
2012年
木に彩色

8F 展示室 3

銀座雑草論
1993年
ミクストメディア
山梨県立美術館蔵

東京インスタレーション
1994年
ミクストメディア
山梨県立美術館寄託

百合
1998年
木に彩色
東京国立近代美術館蔵

8F 展示室 4

雑草
2007年
金

雑草
2012年
木に彩色

スマイル
2009年
木に彩色

1F さや堂

桔梗
2012年
木に彩色

桔梗
2012年
木に彩色

バラ
2012年
木に彩色

マグノリア
2009年
木に彩色